

## 完了検査にあたっての注意点

○完了検査は、雨水流出抑制施設について、申請書の内容及び申請図面通りに設置されているかを現地で確認するものです。

<現地確認可能なもの>

雨水流出抑制施設の寸法等を確認します。

<現地確認不可能なもの(地下埋設物)>

地下埋設式の雨水流出抑制施設等で、現地確認不可能なものについては、施工時の写真によって確認します。

なお、確認ができない場合は、検査完了になりません。

写真の撮影にあたっては、必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこみ、不可視となる出来形部分については、出来形寸法が確認できるよう特に注意して撮影してください。(撮影例P. 3)

～検査の流れ～

①説明

申請書の副本に基づき、机やテーブル等に紙面を広げて、全体の概要、雨水流出抑制施設及び排水計画等について説明してください。

②雨水流出抑制施設等の確認

雨水流出抑制施設等について、現地もしくは写真を確認します。現場の案内や寸法の測定等をお願いします。

③標識の確認

標識の設置位置について説明・案内してください。

④講評

検査の結果、問題がなければ、検査結果指示書(検査済証)を交付します。

検査の結果、問題がある場合は、是正の指示を行います。是正後、再度検査を実施し、問題がなければ、検査結果指示書を交付します。

【その他】

検査日程の調整状況等を踏まえ、遠隔臨場(検査員が現地に赴かず、オンライン会議等を活用して、工事の状況を確認・検査する方法)により検査を実施する場合がありますので、予めご了承ください。

次ページ以降、検査についての詳細→

## ○検査内容・方法の詳細

～検査の流れ～「②雨水流出抑制施設等の確認」について

### 【開発区域内の集水に関する事項】

□開発区域内の雨水が適切に雨水流出抑制施設へ集水されるか確認します。

- ・土地の勾配によって、側溝や集水柵に雨水が集水されるか。
- ・側溝には勾配がつき、雨水が流れるようになっているか。
- ・側溝の敷高が貯留施設の計画高水位以上となっているか。
- ・建物からの雨水管が排水経路へ適切に接続されているか。
- ・隣地境界部はブロックを立ち上げるなどして、雨水が直接流出しないようになっているか。
- ・敷地出入口について、横断側溝や勾配調整で敷地外に雨水が直接流出しないようになっているか。

### 【雨水流出抑制施設に関する共通事項】

□施設の寸法が申請図面通りであるか、測って確認します。

- ・施設の延長、幅、高さは申請図面と合っているか。
- ・流入管、放流管、オリフィスの位置や寸法は申請図面と合っているか。  
(オリフィスの位置は計画高水位以下となる)

□施設の計画高水位がどの位置になるか確認します。

□オーバーフロー管がある場合は、施設の計画高水位より上に設置されていることを確認します。

### 【貯留施設に関する事項】

□施設内に容量を阻害するものがないか確認します。(特に多目的利用がある場合は注意する)

□施設底面に、排水を速やかにするための勾配が設けてあるか確認します。

□吐口が放流先に接続されていることを確認します。

### 【浸透施設に関する事項】

□施設が地下水位から50cm以上離して設置されているか測って確認します。

- ・施設の設置高は申請図面通りになっているか。

### 【地下埋設物に関する事項】

□地下埋設物で、施設内に入ることが可能な場合は、内寸を実測して確認します。

□施設の寸法を測ることができない場合は、施工時の写真によって確認します。

□地下ピットの場合、施設の構造について確認します。

・各ピット間で水が適切に移動できるか。

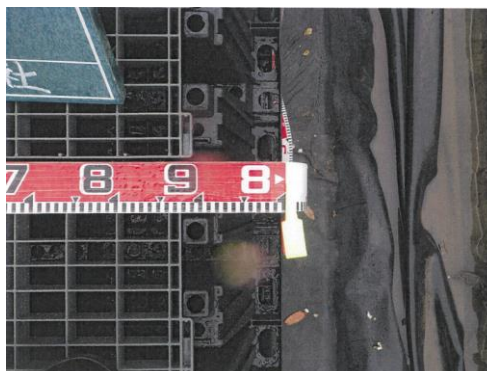
・各ピットの計画高水位以上に通気口があるか。(空気が抜ける穴がないと水を貯留できない恐れがある)

### ※地下埋設物の施工時写真撮影例(施設の寸法の確認)

<全景> 施設の全体を測っている様子がわかるように撮影してください。

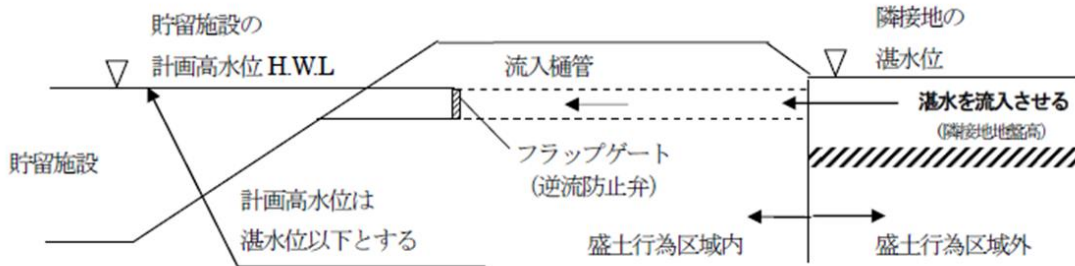


<近景> 始点、終点や目盛の数字がわかるように撮影してください。



【盛土行為に関する事項】

- 造成高、盛土範囲は適切か地盤高を測定して確認します。
- 盛土行為区域外からの施設への流入が機能するか確認します。
  - ・湛水を流入させる樋管が、隣接地の想定湛水位以下に設置されているか。
  - ・貯留施設の計画高水位が、隣接地の想定湛水位以下であるか。



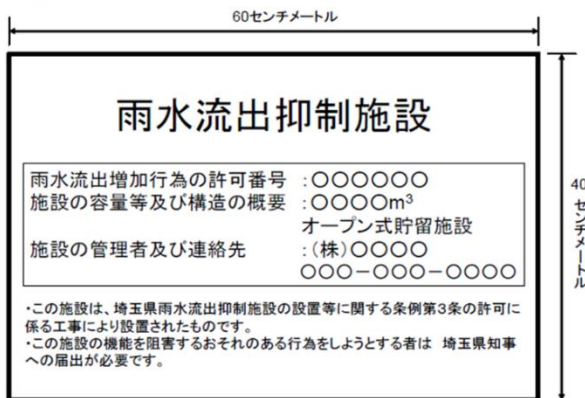
【放流先への排水に関する事項】

- 放流管と放流先の水路等との高さを確認し、適切に排水できるか確認します。
- フラップゲートの計画がある場合、設置の有無を確認します。
- ポンプ排水の場合、ポンプの仕様が許容放流量内であるか確認します。

～検査の流れ～「③標識の確認」について

- 設置されている位置、内容が申請函面通りであるか確認します。
  - ・雨水流出抑制施設周辺で敷地の内外から確認できる位置に設置されているか。
  - ・浸透施設の場合、容量とともに浸透効果量が記載されているか。

(標識の例)



埼玉県 県土整備部 河川砂防課